

とよはし

ファミリー サポート・センター 通信

第24号

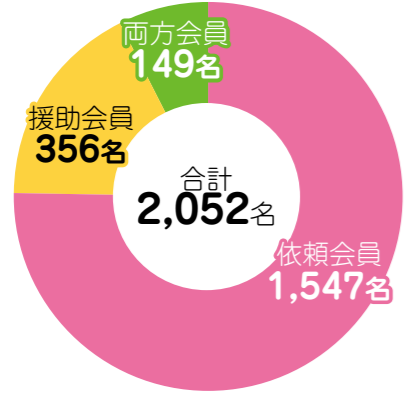
2023年5月



地域の子育てを応援します

活動状況

● 会員数



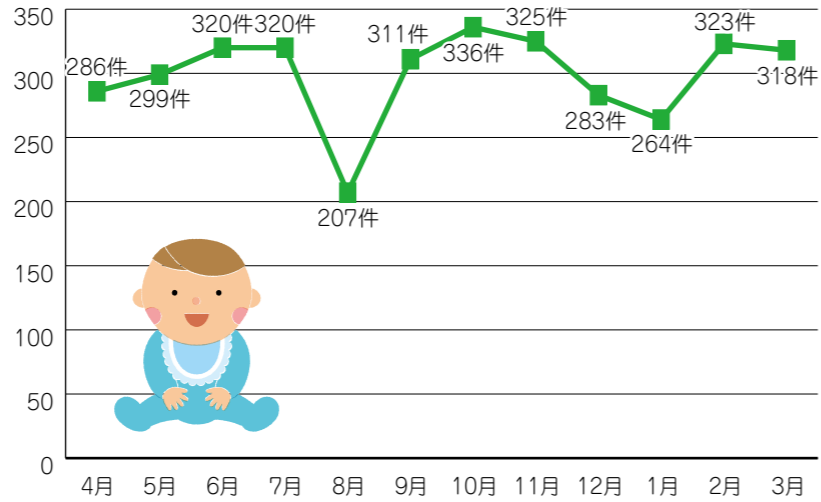
● 主な活動内容と件数



合計
3,592件

(令和4年4月～令和5年3月末)

● 令和4年度 月別活動件数



- ① 認定こども園・保育園・幼稚園の送迎及び登園前と帰宅後の援助 **1,034**件
- ② 子どもの習い事の援助 **1,027**件
- ③ 保護者の外出、用事等の援助 **737**件
- ④ 児童クラブの迎え及び学校放課後、登下校時の援助 **587**件
- ⑤ 保育所・学校等休み時の援助 **137**件
- ⑥ その他 **70**件

令和5年度

サブリーダーさん紹介

サブリーダーさんは各地区代表の頼もしい援助会員さんです。アドバイザーとの連絡調整会議の出席や行事の準備等にもご協力いただいています。

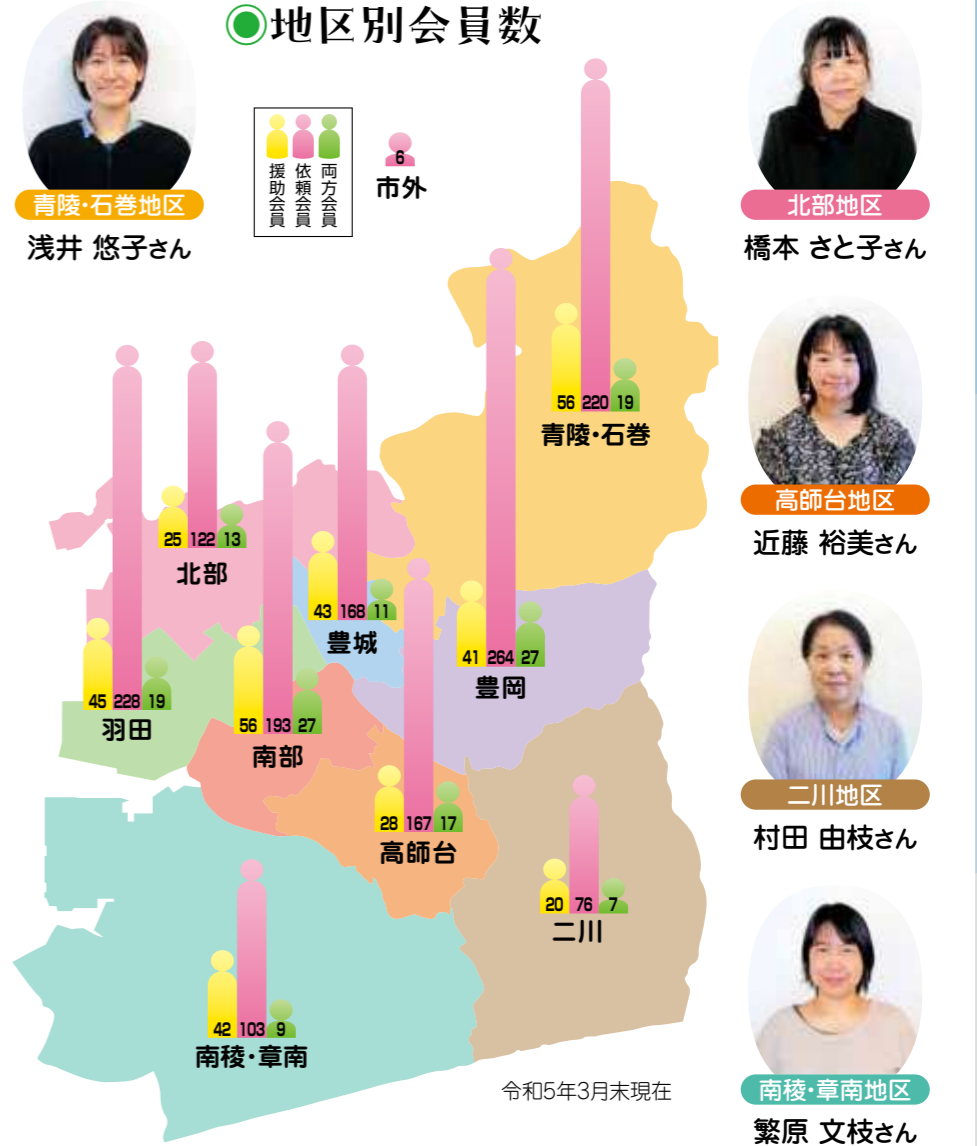
● 地区別会員数

豊城地区 高橋 茜さん
豊城地区 関口 邦子さん
青陵・石巻地区 浅井 悠子さん

豊岡地区 小林 文子さん
豊岡地区 田畑 由加子さん

羽田地区 吉原 由記子さん
羽田地区 牧野 恵己さん

南部地区 四方 和香奈さん
南部地区 谷野 知美さん



令和5年度 年間行事予定



- 通信発行 5月
- 会員講習会 5月、8月、11月、令和6年2月
- センターだより発行 5月、9月、令和6年2月

- サブリーダー会▶ 5月、令和6年2月
- 救命講習会 6月、10月、12月
- フォローアップ講習会 7月、10月



- スキルアップ講座 11月
- 会員交流会 11月
- 会員講習会託児



利用料補助制度

依頼会員または両方会員が以下の対象の場合、援助会員へ支払った利用料の一部を補助します。制度を利用するには、事前に豊橋市役所子育て支援課へ登録申請が必要となります。(令和5年4月1日より利用料補助金の制度につきまして一部変更がありました。)

対象となる世帯 (令和5年4月から)	助成内容	補助金額
多子世帯 未就学児を含む 2人以上	全ての子の預かり利用分	援助会員に支払った「報酬」の2分の1(上限1か月10,000円)(交通費等の実費負担分及びキャンセル料は補助対象外です)
ひとり親世帯 児童扶養手当・愛知県遺児手当・豊橋市母子父子福祉手当の受給世帯・手当受給世帯に準ずる世帯	全ての子の利用分	援助会員に支払った「報酬」の2分の1(上限1か月10,000円)(交通費等の実費負担分及びキャンセル料は補助対象外です)

両方・援助会員のための スキルアップ講座

子育てに役立つ情報やレベルアップのための講座を年1回開催しています。

令和4年11月1日(水) 10:00～12:00

「未来を生きる子どもたちと私たち」
乳幼児期は自分の人生を幸せに生きる土台作り期であり、これに必要な非認知的能力(目に見えない力)を育むお話や共同養育の大切さを学びました。「遊んでばかり」は「学んでばかり」
“一緒に子育ての支援を楽しみましょう!”

明照保育園 主幹保育教諭
中島 美奈子さん



フォローアップ講習会

託児があるので
安心して参加できます

バランスボールヨガ

令和4年
7月12日火
10:00~12:00

講師
さわ助産院×
産後ケアハウス「虹色びれっじ」院長
鈴木 佐和子さん



不安定なボールに座ることで、インナーマッスルが鍛えられます。



からだを整いました♡

ミニボトルのハーバリウム

令和4年
10月18日火
10:00~12:00

講師
ハーバリウム認定講師
ange(アンジュ)
川角 香代さん



ハーバリウムとは鑑賞目的のインテリアフラワーです。透明感とみずみずしさが魅力。



綺麗な出来ばえに満足♪

救命講習会

心肺蘇生法と事故防止の講話

令和4年
6月29日水
10月15日土
12月13日火
9:00~12:00

援助活動における子どもの安全確保が重要視されています。いざという時のために援助会員さんは3年に一度の受講をお願いします。

講師
豊橋市消防本部
消防救急課



いざという時のために繰り返し受講しましょう!



誤飲の対処法も習いました

サポート風景

渚くん 2歳 援助会員 堀尾さん宅にて

堀尾さん宅へ到着



よろしくお願いします



たのしいね

公園へ行ったり、ワンちゃんと遊んだり
とっても元気な渚くんでした。
お母さんは安心して預けることができますね。

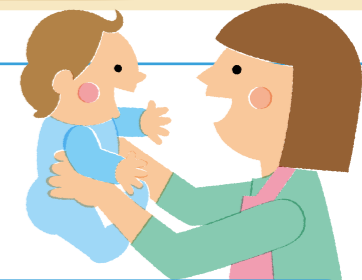


友だち



活動報告書より

大切にお預かり
しています。



預かり 11か月女の子

- 11:40 ● 来宅 寝て起きたばかりの状態
- 12:00 ● 遊び 音の出る本やおもちゃで声を出したり楽しく遊ぶ。
- 12:30 ● 昼食 ごはんを食べる。お茶を飲む。
- テレビ 体をゆらしたり、リズムをとってご機嫌で笑顔いっぱい。おむつ交換
- 13:10 ● 遊び つたい歩きをして体を動かしたり歌にあわせて笑って遊んだりする。お母さんお迎え

保育園の迎え～預かり 6歳男の子

- 15:10 ● 自宅出発
- 15:30 ● 保育園へお迎えの時、先生が「今朝5時前に起きてしまったとお母さんが心配されていたけど元気に潮干狩りに行きました」と伝えてくれました。こんな暑い日に海へ行ったら、さぞ疲れていることだろうと思いましたが、車の中で眠ることもなく元気でした。
- 16:00 ● おやつはいつもよりたくさん食べたのでお腹すいていたのかな？ 今日、海でカニを見つけた絵を大きく描いて楽しかった潮干狩りを思い出していました。
- 17:00 ● かき氷を食べていたらお母さんが迎えに来ました。

依頼会員
西村 香織さん



我が家は小2と3歳の姉妹と夫の4人家族。
豊橋には夫の転勤できました。ファミサポを初めて利用したのは長女が2歳手前の頃です。私の再就職で職安に行く為、預かりをお願いしました。初めは少し心配しましたが、援助会員さん宅のおもちゃを貸して頂き、とても楽しそうでした。その後はしばらく利用がなかったのですが、長女が親の付添いが必要な習い事を始め、活発な次女がその間待つのが大変になってしまった為、依頼をしました。今の援助会員さんとは1年半位前から月3回1時間半の預かりをお願いしています。子ども達の祖母は遠方で会えない為、第3のおばあちゃん存在で、今では毎日の様に「今日〇〇さん家行く?」と楽しみにしています。長女も習い事に集中でき、私もストレスが減りました。コロナ禍でマスクもできない小さい子を預かって頂き、大変感謝しています。今後もこの素晴らしい事業が続いていくことを願い、いずれは私も協力していけたらなと思っております。

令和4年度

会員交流会

令和4年11月6日(日) 10:00~12:00

今年の交流会は、19名の会員さんと
その家族が集まり45名で行われました。

事例発表では、心温まるお話で胸が熱くなりました。
その後は、レクリエーショングループ♪ぱびふぺ・ポン♪さんと一緒に手遊びをしたり、紙コップわたり・お手玉バグゴのゲームを親子で楽しんだりとてもにぎやかな会になりました。

援助会員
四方 和香奈さん



私は結婚を機に豊橋に移り住んで、実家も遠方で頼れる人がいない中での子育てでした。そんな時に広報でファミリーサポートの制度を知り、何かあった時に頼めたらと思い登録したのがきっかけです。現在は子育ても落ち着いてきて、小学5年生の女の子の送迎サポートをさせて頂いています。お家までの短い時間ですが、楽しく色々な話をしながら、いつも「そんな事もあったな」と息子や娘の小学校時代を懐かしく思い出します。時代が違っていても子ども達を感じる事、悩む事は似ていて、お母さんとは違う立場から寄り添って話を聞いてあげられるのも、子育ての経験が活かされていると感じています。また、小さなお子さんをお預かりした時も子育てを振り返りながら、緊張感の中にも一緒に遊び楽しませてもらっています。子育ては大変な時もあると思います。一人で抱え込まず、お母さん達が笑顔で楽しく子育てできる様に私も誰かの手助けができたらと思い活動をしています。

両方会員
木村 綾乃さん



私がファミリーサポートを知ったきっかけは、2人目が生まれた後に保健師さんから「上の子を見てもらえる人がいたら病院など行く時に困らないよ」と教えて頂いたからです。そのまま利用することなく3人目が生まれて習い事の送り迎えや行事の後のお休みの時をお願いする様になりました。今では、子ども達から「援助会員さんのお家に行きたいからママ仕事行って?」と言われる、学校に行きたくないとなった時に援助会員さんの所へ行き、友達の作り方を教えてもらい、「学校にまた行く」と言ってくれたりと一緒に子育てを考え助けて頂ける存在となりました。親子共々、心の支えになってもらっていて見てもらう以上の事をどの援助会員さんにもして頂いています。父母が近くにいる同居もしていると保育園は誰かが休みだと預かってもらえません。しかし、用事があって頼めない場合でもファミサポさんをお願いできる事が私はとても心強いです。

援助会員
稲員 節子さん



私が依頼会員になったのは2006年です。実家が遠く、私の母親が既に他界していたこともあり里帰り出産も難しく親の援助が受けにくい状況でした。出産の際は切迫流産の為2か月余り入院しましたが、主人や周囲の方々に助けをもらい何とか乗り切ることができました。この時痛感したことが周囲の方々の援助の重要性です。色々な事情で実家の援助が難しい方も多いと思います。そんな時に助けて頂けたらどんなにか安心するかと思います。豊橋に来てすぐに依頼会員の登録をしました。2回依頼しましたが、とても助かった記憶があります。この時に援助する方が多くないかと助けてあげられないかと思い、両方会員に切り替えました。最初の援助は、1歳前の男の子の朝から昼までの預かりでした。預かったお子さんが我が家になじめるのか? 怪我をさせたりしないか? 不安もありました。現在まで5年で16人の子どもの預かりや送迎をしましたが、負担もなくできる範囲での援助でした。依頼会員の方から「ありがとうございます」と感謝の言葉を頂くとても心が嬉しく、やりがいを感じます。そしてこれからも微力ではありますが、困っている方の力となっていけるよう、私自身も健康に留意し頑張っていきたいと思います。

ぱびふぺ・ポンさん

紙コップ
わたり

お手玉
バグゴ



活動の流れ

① 登録・利用の申し込み

ファミリー・サポート・センター

① 登録

③ 援助会員の紹介

② 援助の打診

④ 事前打ち合わせ

⑤ 援助活動

⑥ 活動報告書へサイン・利用料金の支払い

1時間600円(平日昼間の基準額)

依頼会員(子育てのお手伝いをしてほしい人)

援助会員(子育てのお手伝いをしたい人)

チャイルドシート貸出し中

車での送迎はシートベルトやチャイルドシートの着用が義務付けられています。

ファミリー・サポート・センターの援助活動でチャイルドシートが必要な場合、貸出しを行っております。貸出し場所はいとピア、牟呂地域福祉センター、大清水地域福祉センターです。

ご利用の場合はセンター(いとピア)までご連絡ください。



ベビー用▲



ジュニア用▲

援助会員募集中

地域の中で子育てのサポートを行う援助会員を募集しています。

- 子どもが好きの方!
- ボランティアに興味がある方!
- 地域に役立つことをしてみたい!

まずは、センターまでご連絡ください。センターの実施する講習会を受けて援助会員となります。

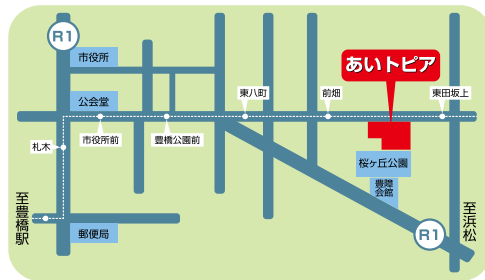
(ファミリー・サポート・センター補償保険に加入しています。)

あしがき

ファミリー・サポート・センター事業にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

核家族で頼れる家族がいない、忙しいのでちょっと手を貸してほしい、そんな子育て中の方の手助けを行っているのがファミリー・サポート・センターです。地域に支えてくれる人がいるというだけで、安心に繋がります。今以上、もっとたくさんの方と出会えるように、アドバイザー一同、微力ながら、お手伝いしていきたいと思っております。

主任アドバイザー 加藤裕江



とよはしファミリー・サポート・センター
豊橋市総合福祉センター／いとピア3階

〒440-0055 豊橋市前畑町115番地

TEL 0532・56・7500

FAX 0532・56・7123

【受付日時】月曜日～土曜日(日曜・祝日・年末年始はお休みです)
午前9時～午後6時

